

ご注意 本機は「猫の手1号」を組み立てキット化したものです。PICマイコンには、ファームウェア Rev.b が書き込まれており、PAD操作によるFM-TOWNS仕様のSELECT/RUNキー入力がサポートされます（以前のファームでは家電リモコン操作時のみ）。組み立てには半田付けの工具やスキルが必要です。アフターサポートはありませんので、本書の内容をご理解された上でお買い上げください。



図解マニュアル

部品表

記号	品名	数量
PIC	16F630 (ファーム Rev.b)	1
IRmodule	赤外線リモコン受信モジュール	1
D1	3mm 赤色 LED	1
D2	3mm 黄緑色 LED	1
R1,R2	カーボン抵抗 1kΩ (茶黒赤金)	2
C1	積層セラミックコンデンサ 0.1μF	1
JP1	2mm ピッチピンヘッダ	3p
JP1	2mm ピッチジャンパーピン	1
CN	Dサブコネクタ 9p・メス	1
	専用プリント基板	1
	熱収縮チューブ (透明)	1

組み立て手順 (詳細は図解マニュアルへ)

1. R1,R2,C1 を実装します。
2. D1,D2 の極性に注意して実装します。丸いランドがアノード側 (足が長い方) です。
3. 赤外線受光モジュールの足を根本に負担をかけるないように 90°折り曲げて実装します。
4. ピンヘッダ 3p を垂直に実装し、ジャンパーピンを挿し込んで normal 側ショートにします。
5. PICマイコンを方向に注意して実装します。
6. Dサブコネクタを基板に対してまっすぐになるように半田付けします。隣とブリッジしやすいので注意してください。
7. 余分な PICマイコンの足をニッパーで切り落として裏面をなるべく平らにします。
8. 動作確認して問題がなければ熱収縮チューブで被覆し、ヒートガンやオーブントースターでチューブが縮まるまで加熱します。
9. ジャンパーピンを抜き差しできるようにカッターで適当に穴を空けてください。
10. 一通りの動作ができるか確認しましょう。完成したあなた、おめでとうございます。

オマケの情報

回路図にある通り SELECT や START キーの他、SELECT+START+上下や左コマンドで PICマイコンの不用品の状態が変化します。この機能は旧ファームにも入っており、何かの工作の応用に使えると思います。

